



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

# CENTENNIAL



## 1986~1987 THEME

「行動の伴った議論を！」—Deeds Not Words Shall Speak —IP

「心を一つにチャレンヂ」—For One And For All Through The Y'S Dom—RD

「明日に向って力強く前進しよう」—Onward Tomorrow — DG

「Y'S Men! Be Romantic」—P

## Thought for the Month

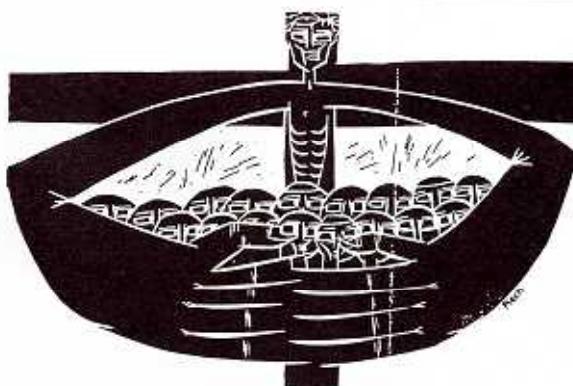
"In the wilderness prepare the way of the Lord, ...  
make straight in the desert a highway for our God.  
..... And the glory of the Lord shall be revealed,  
and all flesh shall see it together, for the mouth of  
the Lord has spoken."

(ISAIAH 40:3,5)

呼ばわる者の声がする。「荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ。  
.....こうして主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る。これは主の口が語られたのである。」

(イザヤ書第40章3, 5節)

## ONE BODY



## MANY

## MEMBERS

"For just as the body is one and has many members,  
and all the members of the body, though many, are  
one body, so it is with Christ."

1 Corinthians 12:12

EMPHASIS THIS MONTH : INTERNATIONAL ..... Cristian Emphasis  
JAPAN ..... IBC

## 今月の聖句によせて

福永嘉彦

クリスマスの季節によく演奏されるヘンデルの“メサイア”は、イザヤ書第40章の予言に始まり、救い主イエス・キリストを通して贖罪が成就される神のみ業を力強く表現した一つの証しであると言えましょう。

そのプロローグとしてこの聖句のレシタティーフや合唱は重要であり、効果的ですが、これらを始めここに引用されている多くの聖句は、このオラトリオを構成する一つ一つの曲を信仰的にかつ芸術作品として生かし、われわれに深い感銘を与えるものです。

嘗て何回となく歌った“メサイア”的演奏会のうちで特にホノルルのカワイアハオ(Kawaiahao)チャーチに於いて祈りと説教と共に歌った感激を想い起し、唯イエス様の御降誕を喜び祝うに止まらず、主の十字架の打勝たれた神の大いなるみ業を讃美し証したるところこそクリスマスの真の意義とこの曲の価値を見出し得るものであるということを考えさせられます。

# THE CENTENNIAL

今月のことば

## I B C の こ と

堀 利 满

IBC (International Brother Club) 活動は、もともと WOL (World Out Look = 世界展望) 事業の一環として行われてきたが、1979年にWOLの名称が廃止され、IBCとYEEP(コメットの交換留学)の二つの独立した事業として行われて来た。

日本で最初のIBC締結は1948年2月、大阪クラブとバサデナ(USA)によるものとされている。1986年9月の『IBC・YEEP Information』によると、現在未締結クラブは、全国87クラブの内21クラブしかない由。

従来国内BCもIBCと一緒に扱われてきたが、今後は日本区名簿にあっても区別され、IBC国際登録リストでもこれまでの様に、国内BCは登録せず、IBCのみ登録することになった。IBCメネット版ともいべきISC(International Sister Club)は、正式に登録されたものとしては、目下の所東京に2クラブ(東京メネットと東京山手メネット)あるだけ。

我がクラブとしては、ハワイ・香港・インドと、はや

3クラブともIBCを持ち、夢々、休眠IBC、仮眠IBCなどとならない様、定期的な交流活動を持続していきたいと思う。加うるに、地域的な便利さもあることだし、NUUANU, BAUHUIUA両クラブとIBC Triangleを近々締結したいものと、取り扱えずIBC Triangleの国際様式、英文の締結書を日本区IBC・YEEP事業主任に請求中である。

さて、当面のIBC活動のターゲットは、1988年の京都国際大会となるだろうか。ぜひとも我等がIBCから代表を招き、大会前後にはホームステイやセントニアルならではのアイデアで独自の計画をたてたいと思う。

IBC事業はY'Sの諸活動の中でも最もY'Sらしい活動のひとつであり、国際性の重要性を問われる昨今、この事業を、アイデアと情熱でますます、盛んなものにしたいものである。



### センティナル クリスマス例会

日 時 12月17日水 P.M 6:30 ~ 20:30  
場 所 大阪クリスチャンセンター  
大阪市東区玉造2丁目26-47 電06-762-7701  
会 費 メン、メネット¥5,000、コメット¥3,000  
交換プレゼント(¥1,000程度)

#### ・プログラム

第1部 謹美礼拝	司会 河野君
前 奏	谷川メネット
聖 書	
讃美歌	
クリスマスマッセージ	黒田君
祈 祷	田中君
後 奏	谷川メネット
第2部 例会・祝会	司会 鈴木君
開 会	会 長
ワ イズソング	一 同
ゲスト紹介(留学生、他クラブ他)	会 長
会 食	
報 告	
ピアノ独奏	松添君
ゲーム・交換プレゼント等	
閉 会	会 長
当番 5班 藤本、河野、柴田、福永、鈴木、 阪田の各君	

12月第二例会 12月26日(金) 6時半

サント・ネージュ(集合は国際奉仕センター)

#### Statistics(統計) 出席に心がけよう

11月例会出席状況 (在籍会員38名)	ニコニコ 献 金	B F ポイント	ファンド 11月末累計
メ ン 17名		11月 切手 757P	
出 席 率 45%	18,300円	現金 52,410P	
メ ネ ッ ツ 3名			274,286円
コ メ ッ ツ 0名	右欄の ファンド 繰入れ	累計 切手 14,021P 現金 65,520P	
ヴィジター& ゲスト 4名			
計 24名			

・切手提供者・全員から提供有。

ありがとうございました。

### NEWS IN BRIEF

11月19日水第1例会

・ "BFあれこれ"

ゲストスピーカー

柳原 一男君



#### WELCOME

Visitors & Guests

TEPA ERIC(タヒチから)

柳原一男君(堺クラブ)

柳原周子姉(〃)

加茂栄三君(大阪クラブ)

Menettes

森 晴美、田中豊子、

鈴木美藤、各メネット



タヒチからYMCAを訪れた  
TEPA ERIC君

### HAPPY BIRTHDAY

黒田 嶽之君	12・2 (1922)
シネリア(黒田さんにふさわしくないので省略)	
上月 英子姉	12・13
歌 磨(せいたくな悩み、愛情)	
小林 幸子メネット	12・17
カニバサボテン(いまはまだ片想い)	
阪田 一夫君	12・20 (1916)
シラボシ(あきらめないで)	
杉本恭之助君	12・6 (1925)
カラシコエ(小さなたくさんの想い出)	
瀬戸 広子メネット	12・15
ハクオウギョク(答えてください)	
中村 陸幸君	12・26 (1942)
ヒイラギ(信仰、深い愛を捧げる)	

# THE CENTENNIAL

Hello!

大阪YMCA日本語学校の留学生に誌面インタビューしました。(その2)

YMCAサービス委員長 田中穂二

- ① 自己紹介  
国、年令、性別、日本に来て何年になるか  
配偶者の有無など  
② 日本に来て困ったこと

- ③ 日本に来てうれしかったこと  
④ 日本人をどう思うか  
⑤ YMCAに何を期待するか  
⑥ 日本語学習の目的

ソラ タイプトラン  
蘇 捷 漢



Alapatte Joshi Francis

- ① 香港。日本に来て、一年になりました。  
② 他の人と意志が通じなかった事。言葉があまり分からなかったからです。食物の方もあまり慣れませんでした。もう一つは、日本のお手洗の便器が和式で、いつも足の痺れがきて、困りました。  
③ 日本人はいつも自分の気持ちを素直に表わさないようです。  
④ 今の日本語の一クラスの人数が多いので、もう少し定員を少なくしてもらいたいです。  
⑤ 父親の会社と日本の会社の間で取り引きがあるので、貿易について勉強するために日本にきました。私は貿易の専門学校に入って、卒業した後で香港に帰って父の仕事を手伝うつもりです。

フーテン トム  
風 天 飛 夢



- ① 私は独身の男性です。半年余になります。  
② 初めて日本に来た時、この島国について何が何だかさっぱりわかりませんでした。困った事も幾つかありました。たとえば日本語が全く出来ませんでしたので、意味を理解するために相手の表情や動作を一生懸命観察しなければなりませんでした。人の心の核心に触れることが出来ましたが、"Where is Toilet?" と言う質問に対する簡単な返事もわかりませんでした。その上、スーパーへ行った時、おいしい料理を買ったつもりだったのに中身は納豆でした。  
③ 日本をよく知るためにヒッチハイクで旅行をしてみました。四日間お風呂に入らなかったので、私の体は悪臭が漂っていたと思います。お風呂を探して三千里、たまたま湯村に着いた時、温泉を見つけ、私は嬉しさのあまり、飛び込んでいました。そこは混浴だったので、これは一石二鳥でした。  
④ このような日本での生活で、色々な人と知り合いになることが出来ました。勿論、親友も出来たし、友情の通じにくい人もありました。でも、どんな人でも、人間は人間だという考えは変わりません。  
⑥ 日本に居るのは好きなので、この国で自分の将来を築きます。

YMCA TODAY

## ▼ クリスマス献金にご協力ください。

— "共に分ち合う気持を託して" —

YMCA国際・社会奉仕センターでは、私費留学生の支援のための基金づくりか、国際理解教育講座、国際交流プログラムのために使われます。

1口 1,000円

申込受付期間は、来年1月31日までですが、センティアルの皆様には12月のクリスマス祝会、1月の例会か、奉仕センター受付にご持参いただきますれば幸いです。又、お送りしました振込用紙に記入の上お送り下されば幸いです。

## ▼ 恒例のファミリークリスマスへどうぞ。

— おいしい食事と楽しいイベント —

日 時 12月12日(金) 午後6時~9時

会 場 大阪YMCAホール

会 費 1,000円

## ▼ 留学生エイドお礼

去る11月22日㈯、国際社会奉仕センターで開催されました、私費留学生支援のための留学生エイドにご協力ありがとうございました。個人企業、家族の方々からの物品が寄付され、又、支援金もとどきました。

収益金20万円は奨学金の基金とします。また、家庭に眠っている電化製品、時計、本箱などもとどけられたり、YMCAに寄贈の連絡があり、多くの反響がありました。

# THE CENTENNIAL



## ハワイ・ヌアヌ・クラブ会長のメッセージ

谷川 寛

先月号のIBC欄にて、ヌアヌ・クラブ会長の半期の報告（原文）をお読みになられた方もおありでしょう。

私のコメントは紙面の都合上割愛になりましたが、近春のハワイ区報が、このメッセージに再度触れていました。  
その要約を英文対比でお伝えしましょう。

「ワイスのクラブが強いかどうか、そのクラブのメンバーと役員がどれだけやる気があるかどうかに掛っています。従って、クラブが伸びるかどうかは、新しい活動的メンバーをクラブに入れられるかどうかであり、さらには今いるメンバーをどうやってクラブの中心的リーダーに育てるかです。

このことを頭に入れてクラブの外を見廻したら、きっと何人かのすばらしいメンバーになりそうな人々に心当たりあるでしょう。クリスマスの例会やその他の会合に彼らを招待し、YMCAの若い人々と交りをともにするよう仕向けて下さい。まず彼らワイスの候補者を招いて来て、ワイスを経験してもらいましょう。あとは彼らに判断させようではありませんか!!」

## NUUANU Y'S NUUANU Y'S UP

November Issue

Excerpt from ELDON MACARAYAN'S President's Message: I feel that the strength of any club lies in the commitment of its members and officers. Therefore, the ability of a club to develop and grow lies in its ability to recruit active new members and to develop these members into leaders...I am sure that all of us know of someone who would make good Y's Men. Invite them to share in the fellowship of our Thanksgiving Dinner or the sharing of Christmas with the young people of Hale Kipa. Invite them, and let them judge for themselves. Let THEM decide.



## ニコニコ・フリーコメント

山田 孝彦 おかげ様でネットは11月9日退院し、只今自宅静養しております。皆様よりいろいろご配慮下さり感謝です。

山村 幸明 一昨日家内が無事フィリピンより帰国しました。

河野 正義 BFのお話、理解が一步深まった感じ、柳原主査に感謝!! 寒さも日増しに厳しくなってきましたが、今冬も風邪をひかぬよう頑張りたい。

鈴木 謙介 BFについてもう一度しっかりした知識を深めることができましたことを感謝して、

柴田 健 塚クラブ中西部BF主査柳原一男氏のBF苦労話に感謝。本日住友ドックの受診結果報告がドクターよりあり、特に悪いところなしとのことで一安心。何はともあれ健康第一。皆様の健康を祈り。

杉浦真喜子 柳原さんの興味深いお話、ありがとうございました。みんなでますます切手集めに励みたいものですね。

松添 社 久々に例会に出席することが出来た喜びを感謝をこめて。

村田 貞夫 お金を出してすべて済ましてしまう最近の風潮の中で、汗して行うBFの奉仕の意義をあらためて知りました。柳原さん、ありがとうございました。

掛江 康一 BFの裏方の苦労話を聞けたことを感謝します。センティアルも頑張らなくてはと思いました。

藤井 きょうも遅刻してしまいました。クリスマスプログラム、新人のアイディアで楽しくしたいと思っています。掛江さん、杉浦さんに乞ご期待。

中川徹太郎 おいしいお食事でした。ごちそうさま。でも……私の前の席の○○さん「総入歎の者にはこりゃかなわん」とのこと。少しかわいそうでした。

田中 穂二 BFについてのお話、有難うございました。豊子  
※紙面の都合で、全員の方を掲載出来ませんでした。  
あしからずご了承下さい。

# THE CENTENNIAL

## 日本区

第42回日本区大会へのお誘い(1987.6.6~6.7)

日本区のワイズメン、ネットの皆様、各地の部会も終り、それぞ減のクラブの活動に、ますます活躍のことと存じます。今回は東京ディズニーランドを主会場の隣に持つという場所柄、ディズニーランドを生かした楽しいプログラムを用意しております。

初夏の一夜をファンタジックにお過ごし下さい。

1986年11月1日

東京ワイズメンズクラブ  
会長  
第47回日本区大会  
実行委員長

## 大阪YMCA爪生主事からのおすすめ

冬こそ阿南です／

年末年始にどうぞ

阿南国際海洋センターでは職員の皆さんのご利用を期待しております。

キャンペーで連日いっぱいだった夏が終り、海洋センターは静かな冬を迎えるとしています。こんな時こそ、阿南を満喫する絶好のチャンスといえます。家族連れは勿論、友人やそのグループをさそっての利用も自由に出来ます。

大阪にらだと少なくとも2泊3日は必要ですが、なかなか時間のとれない忙しい皆さんのために、年末年始を開放します。今から計画して申し込んで下さい。

寒い日にはなべ物が一番

さむい夜は、センター自慢の海賊なべを囲んで楽しいひとときを過して下さい。阿南だから新鮮な海の幸がいっぱいです。冬が最も美味しい季節です。

センターの近くに秘湯があります。

四秀美谷温泉、もみじ川温泉、わじき温泉、宍喰温泉ほか、センターから少し行けば、谷間に素朴な温泉があります。一日は奥四国へ足をのばしてみてはいかがでしょう。海洋センターのスタッフが案内してくれます。

海釣りも出来ます。

お天気のいい日にはセンターのさんばしで海釣りも出来ます。回遊する魚、海の底にいる魚、いろんな種類の魚が釣れ楽しさいっぱいです。

## 中西部

### ● EMC 「21世紀へのワイズの創造と挑戦」

正村 EMC 事業主任の活動方針

1. クラブ数を93クラブ以上に10クラブ以上新設目標に努力。
2. 会員数を2,500名以上に。
3. 20名以下のクラブは規約に基づき、必ず20名以上にする。
4. 出席率を向上させ全国平均80%以上を目標とする。
5. 月2回の通常例会の完全実施。
6. EMCに対する取り組みの強化を推進する。

NOTES  
from  
ALL OVER

## おとなりさん

### 理想のワイズメンズ度テスト

(貴君はどれだけ理想のワイズメンに近いか!)

社 会

- 1) 言葉使いが丁寧である。 2) 礼儀正しい。
- 3) 社会的に正しい理念を常に抱いている。
- 4) 人から尊敬されている。 5) 自分にはステータスがある。

ク ラ ブ

- 1) 例会出席200%を必ず心掛けている。
- 2) クラブの事業には常に参加、協力している。
- 3) メンバーとしての責任義務は必ず果す。
- 4) 約束の日時は必ず守る。
- 5) メンバーとは常に友情を抱き接している。

心 構 え

- 1) 仕事より家庭を大切にしている
- 2) 仕事とワイズには常に情熱を抱いている。
- 3) ワイズメンになり、自分は成長したと思う。
- 4) 他人を思いやる心を常に抱いている。
- 5) 良質な人には、ワイズに入会させたく努力する。

Y M C A

- 1) YMCAへの協力と理解を深めている。
- 2) 小堀憲介先生の理論を理解出来、共感を覚える。
- 3) 食前の祈禱に心休まる。
- 4) YMCAの事業への参加を常にしている。
- 5) 日本区大会へは必ず参加している。(京都パレス11月号より)

## GOINGS & COMINGS

### 会員様

拝啓、貴会益々御発展の事御慶び申し上げます。私事、前にも体調がおもわしくなく、出席もむづかしいので辞退しました。御許しがないまゝになっていましたが、最近病状進み、益々出席不可能な状態になりました。

今回改めて退会の御許を頂きたく、御願申します。(中略) 安静を申し渡されておりますので、私事は御放念下さいまます。気にかけないで頂きとう存じます。阪田一夫拝

☆阪田一夫メンから会長宛、近況のお手紙が参っておりまます。無断ですが、主の御力が加わりますようお祈り願います。(編集者)

## Bulletin Board

11月号の訂正とお詫び。(沢山でスマセン)

- ① 聖句15節(和文)原稿もれ。
- ② メネット出席 田中、柴田各メネット出席もれ。
- ③ 写真 雪君→薛君のまちがい。
- ④ 真島兄 誕生日もれ。
- ⑤ 游さん お国は台湾です。
- ⑥ YMCA日本大会 石川は谷川君が正当。
- ⑦ Bulletin Board の中で  
NEW IN BRIER は抹消。
- ⑧ Ryugakusei.えいとは濁点もれ。

## CALENDAR OF EVENTS

### 1987年 中西部新年合同例会

日時: 1987年1月18日(日)

会場: 千里阪急ホテル(千里中央駅から東へ徒歩5分)

受付: 午後5時

開会: 5時30分、閉会8時(1部: 合同例会、2部: 祝宴)

会費: メン、ネット 8,000

コメット中・高生 5,000円/人小以下無料

ホストクラブ 大阪千里クラブ

合同例会がセンテニアルの第一例会です。



## 悲しき再会（1枚の写真の思い出）

黒田巖之

誰でも長年会っていなかった人と再会できたときは本当に嬉しい。ましてそれが海を越えた米国で、それも12年ぶりであったときに。しかし……。

私が、全国Y.M.C.A.の第8回海外英語研修旅行団の团长として米国各地を訪れたのは1974年の夏であった。

ロサンゼルスでは団員一同、ウェスチスターY'Sメンズクラブの会員宅に分れてホームステイの機会を与えられた。私はFugo Francis氏（当時スタンダードオイル会社の太平洋岸全体の支配人をしていた人）の家に泊めて頂いた。奥さんのTommieさんは、とても親切な、チャーミングな方であった。たった2晩の滞在であったが、別れる時にTommieは涙を流して別れを惜んで下さった。

12年後の今年6月はじめ、私は2人の息子達をニューヨークと、ロスの近くのリバーサイドに訪ねたついでに、ロスのフランシス夫妻を訪ねることも、旅にはいっていた。谷川メネットから、Tommieがガンで病床にあることは聞かされていたが、

Cowan アヴェニューに面した洒落な家を見つけたときは懐しさに胸をふきがれる想いでいた。しかし事態は12年前とは余りにも違っていた。Tommieは既にガンの末期症状で、あのふくよかな頬もげっそりやせ落ち、

正視するに忍びない姿であった。Fugoも看護疲れか、やつれていた。谷川メネットからことづかった手紙を渡し、12年前の回想に話は弾んだが、はずまないのは私の胸のうちであった。変わるのは益々肥え太った愛猫のクリオだけだった。

40分間の訪問の後、辞去する際に、Tommieは私の頬に別れのキスをしてくえたが、私はこみあげてくる嗚咽を抑えられなかつた。それが今生の別れであった。再会の2週間後、彼女は天国に召されたと、後に谷川君から聞かされた。



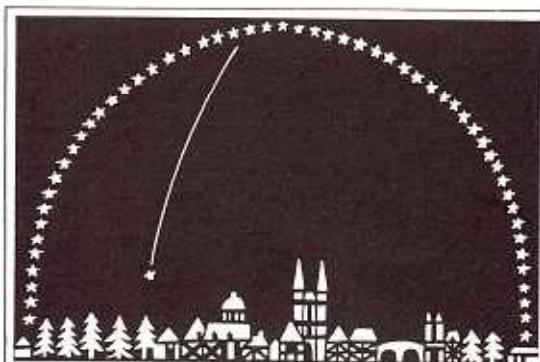
### 1986～1987役員(Officers)

会長	森 庄司	担当主事	眞嶋 克成
副会長	藤井 保男	幹 事	杉本恭之助
〃	平田 雅利	〃	中村 隆幸
書記	松本 常晃	〃	山田 孝彦
〃	多田 幸子	直前会長	山田 孝彦
会計	山村 幸明		

### DATES

### for MAKE-UP & FELLOWSHIP

第1火曜日	サウス	第2土曜日	奈 良
第1水曜日	枚 方	第3火曜日	土佐堀
第1土曜日	紀の川	第3水曜日	センテニアル
第2火曜日	大阪	第3木曜日	河内・和歌山
第2水曜日	千里・高槻	第3金曜日	泉 北
第2木曜日	堺・田辺		



ユダヤの国のかなたに  
悩み苦しむ人々救う  
神の一人子生まれしことを  
知らせよ 知らせよ  
星よ光りて  
(詩 水野源三)

### EDITOR'S NOTE WA.I ZU MAN 和井寿 満のひとりごと

☆先日、田中さんがご関係している「つかしんコミュニティ・チャリチ」の礼拝に出席。11月で丁度1年目。着実に地域にとけこんで主の証しをされている。藍南坂教会から寄贈された礼拝用の長椅子に思わず歴史にふれた想いでした。ステンドグラスも寄贈されたとのことです。

☆THE YMCA(月刊)はいつも愛読し、たいへん啓蒙されているのが、52年から今月で446回になるそうです。特に芥子種のコラムがおもしろい。ブリテンもいつの間にか回数を重ねていくのかと思うと益々充実させたいです。いずれこへ2年間の合冊版の製作を考えています。

☆誕生日の花ことばの由来を発行元の講談社に聞いて見た。イギリスの古典、深大寺植物園の資料、同社版園芸百科などからまとめたいのだそうです。編集者の鈴木さん(女性)のお話でした。気にかかっていたのでひと安心。

(ブリテン 担当 村田貞夫 TEL 0797-32-9204)